

(発行者) 学校運営協議会会長

但田 勝義

(紙面編集) 学校運営協議会事務局

平川 亮一

発行日：令和7年3月14日(金)

かけはし

令和6年度 第3回学校運営協議会開催

令和7年3月4日(火)本校図書ホールにて、令和6年度北海道稚内養護学校第3回学校運営協議会を開催しました。はじめに、但田勝義会長より「育英館大学のICTに関する調査(小中高特)から、養護学校はICT活用の意識が高いが、使用・管理については現場の大変さが伺えた。学校に対して、外部がどのように協力できるのか考える良い機会にしたい」と話題があげられました。



協議会では、一年間のまとめ(一日防災学校・卒業生進路・いじめ調査)、学びのアンケート、R6学校評価まとめ、R7学校経営方針(案)、次年度に向けて(年間行事予定・新年度体制)について、説明・報告し、皆様からご意見等をいただきました。

学びアンケートでは、委員の皆様は二次元バーコード(QRコード)を読み取っていただき、「稚内養護学校でもっと学ばせたい、学ばせてほしいこと」について、アンケートにお答えいただきました。教職員アンケートと比較・分析し、本校教育に活かしていきたいと考えています。

学校評価まとめでは、稚内大谷高等学校木村教頭より「高等学校は自主性を重んじるが、養護学校は細かな配慮を感じる。細かなところの下支えが、学校評価の高い値につながっていると感じた」また、本校PTA阿部会長より「コロナで学校とPTAが切り離された時期があったが、ここ何年かで戻ってきたことが良かった。今後も増えていくと良い。そういった場で子供の悩みなど相談していきたい」と意見が出されました。

経営方針(案)では、声問小学校末村校長より「経営方針・グランドデザインなど具現化されている。各取り組みでは教師のチーム力を感じ、積極的に動いていたことが印象的であった。小学部との交流では、子ども達の成長を感じている。表面的な対応ではなく、関わりながら一緒に楽しむことが自然とできている。来年度も交流をお願いしたい」また、但田会長より「来年度の学び・地域・対話につながっていると感じた。保護者、学校を学校運営協議会として、どのように支えていくか、今後も考えていきたい」と意見が出されました。



本協議会をもって、第3期学校運営協議会が終了となります。委員の皆様には、本校教育にご尽力いただき、大変感謝申し上げます。

第4期につきましても、皆様のお力添えをいただきながら、学校教育目標「人々とかかわりながら、社会で役割を担う元気な人を育てる」を達成できるよう取り組んで参ります。